

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅡB（SeminarⅡB）		
ナンバリングコード	E21202	大分類／難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目／標準レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年／開講期	2 年／後期
必修・選択区分	必修		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002570	クラス名	閻ゼミ
担当教員名	閻 亜光		
履修上の注意、 履修条件	ゼミナールⅡAで学習したプレゼンテーションのスキルを踏まえて、レポートや論文の書き方を主に勉強します。ゼミナールⅡAでは、グループワークが主な内容になりますが、ゼミナールⅡBでは個人ワークがメインとなります。ゼミナールⅡAは履修済みになってからゼミナールⅡBを履修してください。授業で取り上げられる事例は経営学、もしくは人的資源管理に関する事例です。		
教科書	特になし。		
参考文献及び指定図書	授業中に指示します。		
関連科目	ゼミナールⅡA、ゼミナールⅢ、ゼミナールⅣ、経営組織論		

○基本情報		
授業の目的	大学で求められるレポートの書き方を学習することは目的です。また、本ゼミナールを通して、以下のことができるようになります。 1. 与えられた課題に適切に問いを立てることができる。 2. レポートに使う良い使ってダメな情報を認識し、情報を収集できる。 3. 自分の考えを適切な文章で表現する。 4. 考えを論理的に書くことができる。 5. 文章を推敲し、批判的思考を用いて文章を修正する。	
	今まで「決められた答え」を問う課題が与えられ、それに正しく答えることに重点が置かれていました。大学では、答えは複数ある問いを立て、その答えを追究することが重要となります。大学はより正しい答えを探す場所です。本授業は、学術的文章の書き方を中心に、研究をするために必要な基本的なスキルを修得します。2年生の秋学期の授業であり、ゼミの運営を継続します。また、学期末に個人レポートの提出が必要となります。ゼミナールⅡAと同様に、教室外の活動があり、冬休みに合宿を行います。 ＊合宿の開催は初回の授業で多数決で決めます。夏休みのフィールドスタディの振り返りを生かして、学生で決めます。なしにすることも可能です。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「ディスカッション、ディベート」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	ゼミナールに出席し、授業には積極的に参加する			15点
【知識・理解】	学術的文章を書くことができ、小論文などとの違いが理解できる			15点
【技能・表現・コミュニケーション】	引用の仕方、レポートの書き方、書き言葉を理解する		50点	
【思考・判断・創造】	論理的に考えを書くこと、決められた字数内で書きたいことを書くことができる		20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
1.出席は一回につき1点で、最低限10回出席すること。 2.全ての授業に出席すると、ボーナス点数5点加算されます。 3.ディベートは20点、最終レポートは50点です。 4.グループワークや授業中の参加態度は15点です。 5ディベート振り返りを提出した学生は加点対象となります。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他
1.本授業は、提出されたレポートから優秀賞と最優秀賞を1作ずつ表彰します。 2.論点を明確に書くために、期中はディベート大会が含まれます。 3.各学生のレポートテーマに合わせ、お勧め文献を提示します。 4.指導教員はオフィスアワーあり、自由にご利用ください。 5.感染症や公欠等による欠席は事前にご連絡ください。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科目名	ゼミナールⅡB（SeminarⅡB）	授業コード	E002570
		担当教員	関 亜光		
学修内容					
1. オリエンテーション					
学生は近況報告します。また、本ゼミナールの説明や成績評価方法を解決します。ゼミナール運営の相談や前期の振り返しをフィードバックします。					
予習	特になし				(約2.0h)
復習	興味ある研究分野について調べてください				(約2.0h)
2. 学術的文章とは					
学術的文章とは何かを学習します。書き言葉と話し言葉はどのように異なるのかを勉強します。学術的文章の代表例をみます。この回では、各自興味のあるテーマを授業の後半に提出します。					
予習	興味ある研究分野のテーマを整理してください				(約2.0h)
復習	授業中に紹介された書籍を検索してください				(約2.0h)
3. 学術的文章のプロセス					
学術的文章はどのように構成されているかを学習します。本ゼミナールで最終課題として、提出するレポートについて詳しく勉強します。また、研究の流れを認識しておきましょう					
予習	研究と勉強はどのように異なるかを調べてください				(約2.0h)
復習	レポートの詳細を復習してください				(約2.0h)
4. 文献の検索方法及び注意事項					
レポートは、自分の考えだけで成り立ちません。レポートの文献とは何か、文献をどのように検索するかを勉強します。また、使いたい文献をどのようにレポートに使用するかを学習します。＊最も重要な部分になります。間違えると、単位を落とすことになりますので！必ず出席してください！					
予習	文献をどのように入手できるかを調べてください				(約2.0h)
復習	引用の仕方を念入りで確認してください				(約2.0h)
5. 問いの立て方					
与えられた大きなテーマに対し、どのような問いを立てられるかを学習します。問いを分析することの実行可能性や妥当性を勉強します。この回はクイズ形式で展開されます。グループ対戦になります。					
予習	興味のある研究分野を再度調べてください				(約2.0h)
復習	授業中に説明した問いの立て方を復習してください				(約2.0h)
6. 論証方法					
実際に、立てた問いに対し、どのような論証方法があるかを学習します。ゼミナールⅢにて詳しく研究方法を勉強しますので、概要だけ説明します。また、本ゼミナールおん最終レポートにおいて、許可された方法を重点的に説明します。					
予習	特になし				(約2.0h)
復習	最終レポートに認められる方法を覚えるようにしてください				(約2.0h)
7. ディベートとは					
ディベートに関して説明します。レポートを書く際に、自分の主張を提示することになります。同じテーマに対し、対立する立場の人たちをいかに論破できるかと勉強します。ディベートのやり方、ディベートの注意事項を説明します。授業の最後に、ディベートのテーマを発表し、立場を選びます。(6つのグループに分け、合計3回のディベートを次週行います。学生数により、グループ数が増える可能性があります)					
予習	ディベートについて調べてください				(約2.0h)
復習	選んだディベートのテーマに合わせて、次週のディベート大会を準備してください				(約2.0h)
8. ディベート大会					
合計3回のディベート大会を行います。一回につき20分間とし、3回終了後、点数が最も高い両チームはアドリブで最終決戦します。最終勝ったチームとVIPを選出します。また、ディベート大会のの振り返り及び結果は次週の振り返りにて発表します					
予習	与えられたテーマについて準備してください				(約2.0h)
復習	特になし				(約2.0h)

○授業計画	科目名	ゼミナールⅡB（SeminarⅡB）	授業コード	E002570
	担当教員	閻 亜光		
学修内容				
9. 中間振り返り 前回のディベート大会の振り返りをし、最終結果を発表します。優勝チームとVIP個人の表彰を行います。また、ディベートで学習したスキルをいかにレポート作成に活かせるかを重点的に説明します。ディベートの振り返りを次週提出する学生は加点対象となります。				
予習	特になし			(約2.0h)
復習	ディベートの振り返りを書いてください			(約2.0h)
10. レポートのテーマ決め 本ゼミナールの2回目で提出された興味のある研究分野を全ての学生に表示します。そのテーマから自分が書きたいテーマを選び、論文の作成を行います。テーマの重複は基本的に認められませんが、特別事情がある場合、別途相談にて対応します。次週から2週間個別指導を行います。				
予習	レポートの書き方を復習してください			(約2.0h)
復習	選んだテーマでレポートを作成してください			(約2.0h)
11. レポート指導 学生は作成したレポートの進捗状況を報告します。指導教員との1on1の指導になりますが、自分の順番ではない時は教室内でレポートを続けて作成してください。				
予習	レポートを作成してください			(約2.0h)
復習	レポートを作成してください			(約2.0h)
12. レポート指導 学生は作成したレポートの進捗状況を報告します。指導教員との1on1の指導になりますが、自分の順番ではない時は教室内でレポートを続けて作成してください。次週までにレポートの初稿を提出します。				
予習	レポートを作成してください			(約2.0h)
復習	レポートを作成してください			(約2.0h)
13. レポート相互評価 提出されたレポートを相互評価を行います。学生同士による相互評価になります。相互評価する方法や評価シートを当日授業にて説明します。渡された評価シートを用いて、次週までにレポートの最終版を提出してください。				
予習	レポートを作成してください			(約2.0h)
復習	レポートを期限内に提出してください			(約2.0h)
14. レポート大会 提出されたレポート大会を行います。ゼミナールⅡAのようにプレゼンテーション用の資料を用意する必要はありません。指導教員は事前に提出された全員分のレポートを評価し、上位10名のレポートを選出します。当日上位10名の学生は自分が書いたレポートについて、他の学生に説明します。説明のわかりやすさなど重要視されます。評価方法につき、授業中に説明します。				
予習	自分が書いたレポートの内容を再度確認してください			(約2.0h)
復習	特になし			(約2.0h)
15. 合宿打ち合わせ 冬休み中に行われる合宿の打ち合わせします。また、本ゼミナールの振り返りをします。場合によって、上級生との合同ゼミになる可能性もあります。				
予習	合宿担当の学生は発表準備をしてください			(約2.0h)
復習	合宿の準備をしてください			(約2.0h)
16.				
予習				
復習				